

# 着目はアップル・ウォッチ、アップル・テレビよりも、アップル・ペイ

## アップルのイノベーションは

アップルの次のイノベーションは、ウォッチ、電気自動車、テレビとあるが、決済システムの「アップル・ペイ」に注目する日本の人は少ない。アップルが超巨大な「世界の決済市場」に参入してきた事を、グローバルの波として気づいているだろうか。

アップルが動くとき、アップル・ファンを起爆剤に、その周辺の競合（グーグル等）と追従軍がつけられて動く。いわばアップルの動きを一種の「経済シグナル」として考えても良い程だ。「決済」という経済・ファイナンスの根幹部分において、新たなステージが始ま



アップルペイを採用している店頭の写真

ろうとしている。アップルのすること何でも褒めるつもりもないが、今回ばかりはアップルが決済システムへ参入した背景は深く大きい。日本が誇るおサイフケータイやスイカはずでにガラパゴス生物なのだ。

## iPhoneがあれば今使える (ただし日本の外で)

アップル・ペイのユーザーメリットは多数あるが、まずは申込みが簡単な事。iPhoneでクレジットカードの写真を取るだけで申込みがすぐに完了。クレジットカードとiPhone6を持って居る人は審査申し込み無く、「今」から使い始められる。また店舗・流

通・カード会社にとっては、「指紋認証 (Touch ID)」で本人確認が同時に一瞬ででき、クレジットカードが不要な上に悪用も防げる。これが金融機関と流通企業が支援する基本軸だ。

## EMVライアビリティシフト 制度の変更

二〇一五年十月より施行されるICカードの国際基準規格 (EMV) に向けて日本でも小売の端末変更の対応準備が進む。しかし日本はクレジットカードを必要とする「接触型」であり、アップルの規格はカード不要でiPhoneをかざすだけで良い「非接触型 (NFC型)」だ。実はこちらの方がセキュリティ度が高く金融・小売・流通が支援して広まった事が大きい。残念ながら日本のおサイフケータイやスイカ (FeliCa) の規格は世界のEMV規格の中で孤立した規格になる。アップルは満を持して、この月から始まるEMV世界規格の変化に合わせて、「かざすだけ (NFC)」を武器に参入して来た形だ。

## マーケティング上のデータが取れない

だが、アップル・ペイのシステムはマーケティング企業側では、顧客に紐づく購買状況のデータ蓄積がで

くなるというデメリットもある。何と支払い時にカード情報が小売側で入手できないのだ。アップル側も、個人の購買履歴を蓄積せず、支払いのトランザクション情報のみカード会社にトクナイゼーション (その場限りのトクタイプ) の暗号) によって引き継がれる。この点において、アップルはマーケティング業界の常識では「やっかいな」ムーブメントも起こしている。

## ファイナンスへのテクノロジーへの逆流

アップルは顧客情報を吸い上げる事での「マーケティング・テクノロジー」を標榜しなかったのだ。「消費者の個人情報」は自社の商品ではないという立ち位置だ。これに対してアップルが参入したのは「フィン・テック」と呼ばれる「ファイナンシャル・テクノロジー」の分野である。ファイナンス世界でのトランザクションに変化を提供し、ファイナンス企業から利益を得ることで、消費者には「使い勝手」を提供した事がイノベーションだった。

## ユーザーエクスペリエンスが表舞台に

私たち日本のマーケティング業界は、

アド・テック、マーケティング・テックのエリアで常に米国からの技術の影響を受け参考にしてきた。二〇〇八年のリーマン・ショックでは、「RTB」の概念が金融取引の現場からアド・テック、マーケティング業界に「降りてきた」と言われた。今回のアップルがファイナンス業界に乗り込んだのは、得意の「使い勝手の良さ」ユーザー・エクスペリエンス (UX) 開発でマーケティングからファイナンスの世界に逆流したと言える。アップルは単なるデザインのかっこ良さや、画面の美しさを提供したレベルではなく、モバイルからリアルまでの顧客行動 (カスタマージャーニーを含む) を予想し、その流れを最適化するフローに基づくプログラミング (使い勝手) をファイナンスの世界に提供したのだ。

「顧客を捕まえる」というマーケティングは、ターゲットや行動予測だけではない。親和性のある



指紋を示すスマホで読み取って本人認証。パスコードも不要。写真: Apple.com

ユーザー・インタフェースを「読んで」開発すれば、顧客を惹きつける事につながる。そしてその先のファイナンスのトランザクションから付加価値を得ることで「儲かる」モデルを、アップルはマーケティング業界に提示したのだ。日本式で目の前のマーケティング・データの蓄積や、安易なシステム選択だけに捕らわれず、世界の規格の変化も見ておきたい。

※1 EMV: Europay, MasterCard, Visaの頭文字。金融分野におけるICカードを用いたカード取引のためのICカードと端末に関する仕様を定めた国際的なデファクト標準を言う。

※2 NFC: Near Field Communication 数センチの距離での無線通信の国際規格。

(デジタルインテリジェンスニューヨーク 薬校洋文)